

学校業務改善に係る推進委員会
(1)名称 学校業務改善推進委員会
(2)協議・検討内容 ・H23年度 of 取組内容の確認、進捗状況の報告 ・推進校からの報告
(3)成果と課題 ・各校において、業務改善に対する意識の高まり、工夫した取組がみられた。 ・推進委員会の開催回数、協議時間を増やすことことで、更なる充実を図りたい。
学校業務改善に係る取組結果、成果と課題
(1) H22推進校、実践校の成果の普及について  H22年度末(3月)の学校業務改善推進委員会において、推進校(洲本第三小学校)、実践校(青雲中学校)が取組発表を行い、他校への周知を図るとともに、H23年度各校において取り組む事項の確認をおこなった。(ノー残業デー、ノー会議デーの完全実施、通信簿の電子化等)
(2) 文書様式、学校ルールブック等の市内の共通化、共有化について  市のセンターサーバーの中に教育委員会フォルダをつくり、文書様式や学校ルールブックの共通化及び共有化を図っている。
(3) ノー残業デー、ノー部活デー、ノー会議デーの実施率の向上について  校長会、教頭会等で、ノー残業デーを設定どおり実施するよう指導している。その結果、WLBの意識が高まってきたが、まだまだ学校間、職員間の意識の差がある。
(4) 市独自の取組について  ・校務用パソコンを1人1台割り当て(非常勤職員にも拡大)、ネットワーク等の環境を向上させた。 ・児童生徒出席簿、年間授業時数表のバージョンアップを図った。 ・教頭事務の業務改善研修会を実施。
次年度の学校業務改善に係る取組計画
・推進校の実践をモデルに、各校において独自のルールブックを作成する。 ・指導要録の電子化に向け、問題点等を明確にし、実現に向け進めていく。 ・データベース活用に向けて、市情報教育担当者レベルでの研修を行う。 ・学校日誌の電子化を進める。